

2010年（平成22年） 山のトイレを考える会 活動報告

山のトイレを考える会

1. フォーラム案内、ニュースレターを送付（2010年1月19日）

第11回山のトイレフォーラム案内とNO.10ニュースレターを会員及び関連団体へ約500箇所送付しました。

2. 平成22年度定期総会の開催（2010年3月6日）

第11回フォーラム開催日に定期総会を開催しました。平成21年度事業報告、会計報告、平成22年度事業計画案、予算案について承認していただきました。

3. 第11回山のトイレフォーラムを開催（2010年3月6日）

- ・ 北海道大学学術交流会館1F第一会議室で参加者47名を迎え開催しました。テーマは「改めて北海道の山トイレ事情の今」です。
- ・ 北海道の山トイレ事情について4人の方から各山域について報告がありました。
（報告1）大雪・十勝 黒澤大助氏（山のトイレを考える会）
（報告2）知床羅臼岳 滝澤大徳氏（知床山考舎）
（報告3）利尻山 岡田伸也氏（環境省利尻アクティブレンジャー）
（報告4）日高幌尻岳 稲垣悦夫氏（幌尻山荘管理人）

大雪・十勝では黒岳にバイオトイレが設置されましたが、設計値より利用者数が多いため水分過多となりバイオが働かず、オガクズ交換を年間5回ほど行い維持管理に関係者が大変なご苦労をしています。また、忠別小屋、ヒサゴ小屋などは老朽化して傷みが激しい事。トムラ南沼野営地の携帯トイレブースも傷み、便座の取り付けの悪さなどが報告されました。

知床の羅臼岳では、山中にトイレはありません。主要な水場や野営地である羅臼平ではティッシュも散乱しています。そこで平成20年から携帯トイレの利用推進を実施しています。

滝澤氏からはガイドとして、いかに携帯トイレを普及、定着させるか、いろいろなご苦労話とノウハウ、改善提案のお話がありました。

利尻山は全国的にも携帯トイレで山岳環境を守っている先進地です。そこに至るまでの町、環境省、島民が一体となって困難を克服した経緯を岡田氏がお話してくれました。

幌尻山荘のトイレ問題については、管理人の稲垣氏からバイオトイレの維持管理や仮設トイレのし尿担ぎ下ろしなど現場の苦労話についてお話がありました。

その後、ディスカッションとなりましたが、行政といかに連携して問題を解決していくか、行政の事業に現場の意見をいかにタイムリーに反映させるか議論が交されました。

フォーラムの議事抄録は本資料集やホームページに掲載しています。

4. 山のトイレ案内を送付（2010年8月2日）

会員や賛助会員宛に「2010山のトイレ案内」と「山のトイレマナーガイド」を約400通送付しました。

5. 山のトイレマナーガイドの印刷（2010年8月10日）

2009年に内容をリニューアルした「山のトイレマナーガイド」の在庫が無くなり、3,000部印刷しました。

6. 幌尻山荘の排泄物担ぎ下ろしに参加（2010年7月17日～19日、9月18日～20日）

日高山脈ファンクラブ（樋口和生会長）主催の幌尻山荘排泄物担ぎ下ろしに、当会の会員も参加しました。幌尻山荘では、屋外にバイオトイレが1基、貯留式仮設トイレ2基、山荘内に貯留式1基が設置されています。

バイオトイレは水力発電機の故障で利用できない日も多かったのですが、天候不良により登山者が少なかったため排泄物の量はいつもの年より少なかったようです。

1回目は参加者21名で158kg、2回目は参加者23名で370kg担ぎ下ろしました。屋外仮設トイレ便槽を空に、山荘内トイレ便槽は3/4を運搬しました。

2005年開始したこの事業の参加者は延べ232名、人力運搬総量は2787kgとのことでした。

7. 2010全道一斉山のトイレデー実施（2010年9月5日）

2010山のトイレデーを9月5日に実施しました。今回で10回目です。

生憎の荒天で、日程を変更して実施したグループもありました。北海道の約28箇所の登山口でマナー袋と山のトイレマナーガイドの配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を一斉に行いました。参加者は約80名、マナー袋、マナーガイドは約2000枚を配布することができました。今回は本州の蔵王でも山のトイレデーにあわせ活動していただきました。

8. マナー袋を全国からの送付要請に応える

当会が考案したマナー袋はトレッキングウエアの専門メーカーである（株）ムッシュ様から無償で提供していただき、山のトイレデーなどで配布してきました。

このマナー袋は徐々に全国的にも知られるようになり、神奈川県自然環境保全センター、宮城県蔵王町、神奈川県山岳連盟、山のトイレ環境を考える福岡協議会など多くの団体に当会や（株）ムッシュ様から送付しました。

9. 当会ホームページ等の維持管理

当会のホームページや携帯で見ることができる「北海道の山トイレ情報」を最新の情報となるよう更新、維持管理に務めました。